

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年2月15日  
東

上場会社名 株式会社エスクリ 上場取引所  
 コード番号 2196 URL <http://www.escrit.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渋谷 守浩  
 CEO  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 吉瀬 格 (TEL) 03-3539-7654  
 CFO 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	7,950	△67.9	△4,858	—	△4,985	—	△4,074	—
2020年3月期第3四半期	24,746	△2.4	2,040	4.4	1,999	5.1	996	△22.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △4,071百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 998百万円(△21.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△320.87	—
2020年3月期第3四半期	84.72	84.69

(注) 2021年3月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失が計上されているため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	25,846	3,915	15.1
2020年3月期	23,228	7,478	32.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 3,912百万円 2020年3月期 7,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日別途公表の「剰余金の配当(無配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、現段階において合理的に算定することが困難であると判断し、未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	13,786,500株	2020年3月期	11,986,500株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	277,932株	2020年3月期	277,932株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	12,696,932株	2020年3月期3Q	11,762,101株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、2021年2月15日に当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日~2020年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から経済活動が著しく抑制されたことにより、景気は急速に悪化しました。緊急事態宣言が解除となり、経済活動が再開されたことにより持ち直しの動きは見えるものの、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループは、ブライダルマーケットにおけるシェア拡大戦略を展開すべく、施設のスタイルにこだわらず、東京23区及び政令指定都市を中心とした利便性の高い場所で挙式・披露宴を運営する当社のほか、地方展開する当社100%子会社である株式会社エスクリマネジメントパートナーズ、並びに店舗・オフィスの設計施工、建築用コンテナの企画・販売・施工、建材・古材の販売など建築不動産に関するソリューションを提供し、またグループ内施設の内装工事を担う株式会社渋谷を主軸にグループ経営を推進する体制を強化し、連結業績の最大化に向け継続して取り組んでおります。

しかしながら、当第3四半期連結累計期間は、ブライダル関連事業において、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2020年4月に発令された緊急事態宣言及び同年5月にはその延長を受け、同期間中においては運営する全施設を臨時休業といたしました。緊急事態宣言が解除され、新規受注、施行件数等は徐々に回復傾向にあるものの、同期間に予定されていた挙式・披露宴の多くが日程変更となったことから、売上高が大幅に減少することとなりました。

また、建築不動産関連事業においては、当第3四半期連結累計期間に竣工予定の工事等による売上高が、当初より少額であったため減収となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高7,950百万円(前年同四半期比67.9%減)、営業損失4,858百万円(前年同四半期は2,040百万円の利益)、経常損失4,985百万円(前年同四半期は1,999百万円の利益)となり、従業員の休業に伴う雇用調整助成金1,118百万円を特別利益に計上した一方、休業期間中の人件費、家賃、減価償却費等1,657百万円を新型コロナウイルス感染症による損失として特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失4,074百万円(前年同四半期は996百万円の利益)となりました。

なお、当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大による影響の長期化に備えて、融資枠として前連結会計年度末借入未実行残高900百万円に加えて新たに6,000百万円のシンジケート方式によるコミットメントライン契約を締結しました。また本年4月から9月の6か月間で、民間金融機関等から合計7,528百万円の借入を実施し、その結果、当社グループの当座貸越契約及びコミットメントラインの借入未実行残高は4,702百万円となっております。また、同年8月、SBIファイナンシャルサービシーズ株式会社に対して、第三者割当増資により601百万円の調達を行い、手元資金を厚く確保しております。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

## (ブライダル関連事業)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2020年4月に発令された緊急事態宣言及び同年5月にはその延長を受け、同期間中においては運営する全施設を臨時休業といたしました。緊急事態宣言が解除され、新規受注、施行件数等については徐々に回復傾向にあるものの、同期間に予定されていた挙式・披露宴の多くが日程変更となりました。これにより売上高が大幅に減少した結果、ブライダル関連事業の売上高は6,294百万円(前年同四半期比72.0%減)、セグメント損失は4,181百万円(前年同四半期は2,818百万円の利益)となりました。

## (建築不動産関連事業)

当第3四半期連結累計期間に竣工予定の工事等による売上高が、当初より少額であったため減収となり、建築不動産関連事業の売上高は1,656百万円(前年同四半期比26.3%減)、セグメント損失は134百万円(前年同四半期は44百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は25,846百万円となり、前連結会計年度より2,617百万円増加しております。これは主に、現金及び預金が1,248百万円増加したこと、繰延税金資産が1,461百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債総額は21,931百万円となり、前連結会計年度より6,181百万円増加しております。これは主に、支払手形及び買掛金が443百万円減少したこと、短期借入金が3,373百万円増加したこと、前受金が495百万円増加したこと、長期借入金が1,843百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は3,915百万円となり、前連結会計年度より3,563百万円減少しております。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失4,074百万円を計上したこと、新株の発行により601百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの事業を取り巻く環境は不透明な状況が続くと予想されますが、グループとしての力を一層発揮するための体制、仕組作りをすすめてまいります。

今期の連結業績の見通しにつきましては、臨時休業による受注の減少、挙式・披露宴の日程変更等の影響により、営業損益、経常損益、親会社株主に帰属する当期純損益のいずれも赤字となる見込みであります。尚、新型コロナウイルス感染症による影響につきましては、緊急事態宣言が解除され、新規受注状況は徐々に回復傾向にあったものの、2021年1月に緊急事態宣言が再発令されたことから、収束時期が未だ見通せない状況であります。今後の感染者数の推移により、今期に見込まれる施行件数のうち、施行直前においても一定数が翌期以降に日程変更となる見込みであり、現時点において業績予想の適正かつ合理的な算定が困難であると判断し、引き続き未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,130,218	5,378,472
受取手形及び売掛金	263,475	132,940
完成工事未収入金	184,383	533,951
販売用不動産	816,508	870,555
商品及び製品	272,243	264,030
原材料及び貯蔵品	71,839	59,704
未成工事支出金	25,070	556,258
その他	759,337	778,170
貸倒引当金	△23,785	△34,987
流動資産合計	6,499,289	8,539,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,778,317	8,100,858
その他	2,340,127	2,135,673
有形固定資産合計	11,118,444	10,236,531
無形固定資産	46,678	77,461
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,679,405	3,649,807
繰延税金資産	1,569,273	3,030,536
その他	343,216	347,190
貸倒引当金	△27,532	△33,887
投資その他の資産合計	5,564,362	6,993,646
固定資産合計	16,729,486	17,307,638
資産合計	23,228,775	25,846,735

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,072,953	629,211
短期借入金	300,000	3,673,000
1年内返済予定の長期借入金	1,874,221	2,110,773
未払金	1,004,761	666,625
前受金	2,356,589	2,851,697
未払法人税等	283,740	321,007
その他	1,572,651	2,585,063
流動負債合計	8,464,918	12,837,379
固定負債		
社債	330,000	300,000
長期借入金	3,781,772	5,625,506
資産除去債務	2,544,095	2,575,056
その他	629,018	593,224
固定負債合計	7,284,886	9,093,787
負債合計	15,749,804	21,931,167
純資産の部		
株主資本		
資本金	607,879	908,839
資本剰余金	565,879	866,839
利益剰余金	6,499,745	2,332,067
自己株式	△192,485	△192,485
株主資本合計	7,481,017	3,915,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△127	2,277
為替換算調整勘定	△4,681	△4,637
その他の包括利益累計額合計	△4,809	△2,359
新株予約権	2,763	2,667
純資産合計	7,478,971	3,915,567
負債純資産合計	23,228,775	25,846,735

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	24,746,079	7,950,992
売上原価	10,372,399	4,554,647
売上総利益	14,373,680	3,396,345
販売費及び一般管理費	12,333,289	8,254,989
営業利益又は営業損失(△)	2,040,390	△4,858,644
営業外収益		
受取保険金	12,442	39
リース債務免除益	—	13,932
業務受託料	—	4,264
補助金収入	20,416	11,804
その他	11,405	136
営業外収益合計	44,264	30,176
営業外費用		
支払利息	50,017	58,028
金融手数料	789	77,938
その他	33,910	20,846
営業外費用合計	84,717	156,812
経常利益又は経常損失(△)	1,999,938	△4,985,280
特別利益		
新株予約権戻入益	53	95
雇用調整助成金	—	1,118,923
その他	—	18,204
特別利益合計	53	1,137,222
特別損失		
減損損失	509,811	—
新型コロナウイルス感染症による損失	—	1,657,117
特別損失合計	509,811	1,657,117
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,490,179	△5,505,175
法人税、住民税及び事業税	658,712	30,851
法人税等調整額	△165,016	△1,462,017
法人税等合計	493,695	△1,431,165
四半期純利益又は四半期純損失(△)	996,484	△4,074,009
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	996,484	△4,074,009



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	996,484	△4,074,009
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,111	2,405
為替換算調整勘定	△161	43
その他の包括利益合計	1,949	2,449
四半期包括利益	998,433	△4,071,560
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	998,433	△4,071,560

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

当社グループにおいては、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、政府より発令された緊急事態宣言による外出自粛要請等を受け、臨時休業を余儀なくされるなど事業活動にも大きな影響を受けております。

このような状況の中で、当初より収束の想定時期が長引いておりますが、挙式披露宴においては、キャンセルの発生はあるものの、日程変更等が大半を占め、一定数の受注残高が積み上がっているため、将来キャッシュフローに重要な影響を与えるものではありません。よって、現時点において前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した見積りに重要な影響を与えるものではないと判断しております。

当第3四半期連結会計年度末においては、上記の仮定条件に基づいて固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性に関する会計上の見積りを行っております。

なお、今後の状況の変化により、感染拡大の収束が遅延、長期化した場合には、翌四半期連結会計期間以降の連結財務諸表に影響を与える可能性があります。